

# 施策評価シート

評価年度	平成24年度	事業実施年度	平成23年度	施策主管次長名	市民部次長 塚本 剛
施策番号	56	施策名	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち		
関係課名	保険年金課、福祉課、健康推進課、高齢福祉課(介護)、市民病院(在宅・訪問看護)				

## 1. 施策の概要

施策の目的	対象	特定健康診査対象者	対象指標名	単位	H22実績	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
		健診診査対象者	特定健康診査対象者	人	7,798	7,975	8,007	8,087	8,167	8,167
		国民健康保険被保険者	成人がん検診対象者	人	29,955	29,955	30,300	30,300	30,300	30,300
			国保被保険者数(年度末)	人	11,320	11,553	10,700	10,800	10,900	11,000
意図	健康に暮らしてもらい、安心して暮らしてもらい				成果指標名	特定健康診査受診率				
						成人がん検診受診率				
						夜間・休日診療利用者数(救急事業実施 5病院)				
						国民健康被保険者1人当たり療養諸費(一般+退職)				

## 2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	特定健康診査受診率	%	30.4	55.0	30.7	65.0	65.0	65.0	65.0
指標設定の考え方と把握方法		生活習慣病(動脈硬化症、高血圧、糖尿病、脂質異常症など)の予防の健康管理、病状改善のため健康診査した率。健康推進課で把握							
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	成人がん検診受診率	%	22.0	23.0	21.5	25.0	25.0	25.0	27.0
指標設定の考え方と把握方法		市民の健康寿命の延伸を図る手段として有効であるとして指標とした。健康推進課で把握							
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	夜間・休日診療利用者数(救急事業実施 5病院)	人	62,827	67,000	63,847	67,000	67,000	67,000	67,000
指標設定の考え方と把握方法		救急診療体制(夜間・休日医療)で病状の軽減を図った件数。健康推進課で把握							
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	国民健康被保険者1人当たり療養諸費(一般+退職)	千円	289	220	275	220	220	220	220
指標設定の考え方と把握方法		国民健康保険被保険者(市民)が病気治療のため、市(保険者)の医療費負担を利用した額の伸び。保険年金課で把握							

## 3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	日ごろから健康づくりに努め、「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、進んで健診し、病気予防・療養・治療に専念する。			
	行政	予防のための健康増進の機会、早期発見の健診、急病時の救急医療体制を提供する。また安心して病気予防・療養・治療に専念してもらうため医療費負担をする。			
達成度評価	成果目標(指標計画値)と現状との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康検査受診割合は、30.7%の実績であり計画値を達成しなかった。</li> <li>成人がん検診受診率は平成22年度実績から0.5減少した。</li> <li>夜間・休日利用者は1,020人増加した。</li> <li>国民健康被保険者1人当たり療養諸費は計画を上回っている。</li> </ul>			
	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査受診率は、豊田市33.9%と比較すると3.2%低い。</li> <li>成人がん検診受診率は、豊田市21.8%、豊明市29.1%、日進市35%、東郷町13.6%と近隣市町と比較して、東郷町の受診率を上回る。</li> <li>平成22年度国民健康被保険者1人当たり療養諸費は、豊田市271千円、豊明市310千円、日進市287千円、東郷町289千円と近隣市町と比較して、豊田市を除き下回っている。</li> </ul>			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査受診率は、22年度の実績を上回った。しかし23年度計画を大きく下回った。</li> <li>成人がん検診受診率は、21年度(20%)と比較し、0.5%減少した。</li> <li>夜間・休日診療利用者数は、21年度71,022人から7,175人減少。</li> <li>国民健康被保険者1人当たり療養諸費は22年度実績を下回った。</li> </ul>			
【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査受診率は愛知県平均より低い、同健診の参加者数は、健康イベントの利用と個別通知などの方法による啓発を行うことにより、受診率の向上を見込む。また、健診の実施期間の延長を検討する。</li> <li>市民が日常的に介護を必要としないで、自立した生活期間(健康寿命)を支援する“健康維持、介護予防のための拠点施設基本構想の策定”をする。</li> </ul>				
【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命を延ばすため、40歳以上から74歳の特定健康診査の受診率向上を図り、生活習慣の改善者に健診指導を行う。また、成人がん受診率向上は、健康の維持、疾患の予防、病気(がん等)の早期発見や治療に繋げる。</li> <li>医療救急体制、医療費助成及び自営業者などを対象とする医療保険制度の充実に取り組んでいる。一方、医療費支給額は年々増加し、市の財政負担も厳しい状況である。受診率向上で医療費の抑制を図る。</li> <li>医療費助成や迅速な救急医療体制の充実に図り、保健サービスの充実にともな健康イベントなどを利用し国民健康保険制度を広く知らせる。</li> </ul>				
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成23年度市民アンケート調査による